

しゃかいふくしほうじん ところ かい がくえん
社会福祉法人 心の会 あすなろ学苑

しゅうろうけいぞくしえんぴーがたじぎょうりょうけいやくしょ
就労継続支援 B型事業利用契約書

<<もくじ次>>

1. もくてき
目的
2. きかん
期間
3. こべつしえんけいかく
個別支援計画
4. しゅうろうけいぞくしえんぴーがたじぎょう ないよう
就労継続支援 B型事業の内容
5. しえんないよう
支援内容
6. さぎょうかつどう こうちん しはら
作業活動と工賃の支払い
7. じこ せんがいばいしょう かん がくえん せきにん
事故と損害賠償に関するあすなろ学苑の責任
8. りょうりょうきん しはら
利用料金の支払い
9. じこ せんがいばいしょう かん りょうしゃ せきにん
事故と損害賠償に関する利用者の責任
10. しせつりょうきそく まも
施設利用規則を守る
11. りょうしゃ やくそく と け
利用者からの約束の取り消し
12. あすなろ がくえん やくそく と け
あすなろ学苑からの約束の取り消し
13. やくそくしゅうりょう
約束終了
14. くじょうかいけつ
苦情解決
15. りょうしゃ がくえん そうだん
利用者とあすなろ学苑が相談すること
16. ほしょうにん
保証人

※この説明書に書かれた じょうほう ねん がつ にちげんざい
情報は2025年7月1日現在のものです。

しゃかいふくしほうじん こころ かい あすなろ 学苑^{がくえん}
社会 福祉 法人 心の会

しゅうろうけいぞくし えんぴーがたじぎょうしょ
就労 継続 支援 B型 事業所

とうしせつ かながわけん してい う
当施設は 神奈川県 の 指定 を 受けています。

じぎょうしょばんごう
事業所 番号 1 4 1 1 9 0 0 1 2 7

____さん（以下「利用者」という）は、社会福祉法人心の会あすな
ろ学苑（以下「あすなろ学苑」という）の提供する「就労継続支援B型事業
の利用および、利用料金の支払いについて」次のとおり約束を結びます。

目 的

第1条

この約束は、利用者が自分の力で生活することや生活するうえで
必要な技術を習得し社会参加を進めることが目的です。あすなろ
学苑が利用者のためにすることの内容（個別支援計画作成や就労
継続支援B型事業など）と、それに対して利用者があすなろ学苑で
自立に向けたトレーニングを行う事および利用料金を払うことにつ
いて明らかにし、利用者とあすなろ学苑が互いに理解と合意をした上
で、就労継続支援B型事業が提供されることを目的とします。

期 間

第2条

- この約束の有効期間は契約開始日（2025年7月1日）から受給
決定満了日および退苑日までとします。
- 前項の契約期間満了の日引き続き、利用者について
訓練等給付費の支給が決定されたときは、その決定された期間本契約
は自動更新するものとします。また、それ以降の契約期間満了に伴う更新
についても同様とします。ただし、期間満了の30日以上前までに利用者

から本契約を更新しない旨の申し入れがあった場合、または、第11条

・第12条・第13条により本契約が解除された場合は、本契約は終了

するものとします。

あすなろ学苑が行うこと

第3条 個別支援計画

あすなろ学苑は、利用者の心身の状況、課題や意向に基づいた

個別支援計画を利用者同意の上作り、これにもとづいた就労継続

支援B型事業を提供します。少なくとも年2回もしくは利用者の希望

に応じてその計画の見直しを行います。

個別支援計画には就労継続支援B型事業の目標及びその期間、

サービスを提供する上での留意点等を盛りこみ、原則として入苑後

1ヶ月以内に作成します。

また、個別支援計画は書面で利用者に交付・説明し、内容の確認

と記名を受けるものとします。

あすなろ学苑は、利用者同席のもと個別支援計画会議を実施します。

ただし、利用者が参加できないやむを得ない場合は、この限りではありません。

第4条 就労継続支援B型事業の内容

あすなろ学苑は、「就労継続支援B型事業所」(重要事項説明書

)の定めるサービスを利用者のために提供します。

(1) 相談や助言

(2) 作業の提供・職業の支援

(3) レクリエーションや行事

(4) 昼食の提供（希望者のみ、調理員が製造した昼食を提供）

(5) 送迎の提供（希望者のみ、当苑が定めている所定のサービス時間

開始前及びサービス時間終了後に限り指定場所と事業所間の送迎サービスを行います。

なお、利用者の都合により遅刻、早退する場合は、送迎の対象外となります。

送迎車両の台数が限られている為、同じ車両で複数回の送迎を行います。そのため、2便以降に乗車となった場合や交通渋滞が生じた場合は、苑内において待ち時間が生じます。

第5条 支援内容

1 あすなろ学苑は、利用者が自分の力で生活することや社会参加

を進めるための支援をします。また、あすなろ学苑は法律を守ると同時に、

利用者の考えや気持ちや人柄を大切にし、利用者の立場にたった

就労継続支援B型事業を行います。

2 あすなろ学苑は、利用者に就労継続支援B型事業を行うにあたって、

次の6つのことを約束します。

(1) 生命、身体 of 安全確保に気を配ります。

(2) この約束の内容についてわかりやすく説明し、利用者の同意

を得るものとします。

(3) 仕事上知り得た利用者や家族等の秘密について、正当な理由

がある場合を除き、他人に漏らしません。ただし、医療機関で診察

を受ける場合や、福祉サービス・行政サービス等を円滑に利用

するための連絡調整、その他必要な範囲で個人情報を使う

ことができるものとします。(社会福祉法人 心の会 個人

情報管理規定に基づき取り扱うこととします。)

(4) 利用者・他の利用者の生命、または身体を保護するための

緊急やむを得ない場合を除いて、からだの自由を奪ったり、行

動の制限をする行為をしません。

(5) サービス提供に関する記録を整え、サービス提供日から5

年間保存します。利用者は自分の記録を請求することにより、

見ることができます。また実費(1枚10円)を負担してコピー

をすることもできます。ただし、物価の変動により料金の価格

改定を行うことがあります。

(6) 利用者のプライバシーの保護について十分な配慮をします。た

だし、就労継続支援B型事業の実施、安全衛生上管理の

必要がある場合には、更衣室などに立ち入り、必要な措置を

行います。

第6条 作業活動と工賃の支払い

1 あすなろ学苑は、第3条に定めた個別支援計画に沿って、利用者1人

1人の能力、適性に応じて作業の内容を定め、利用者に対し適切

な作業活動の支援を行います。

2 あすなろ学苑^{がくえん}は、授産事業^{じゅさんじぎょうしゅうにゅう}収入^{ひつよう}から必要な経費^{けいひ}を差し引いた額^{さしひ}を工賃^{こうちん}として利用者^{りようしゃ}に支払^{しはら}います。あすなろ学苑利用者給料規定^{がくえんりようしゃきゅうりようきてい}に基づき、工賃^{こうちん}を支払^{しはら}います。

第7条 事故^{だいいじょう}と損害賠償^{じこ}に関するあすなろ学苑^{そんがいばいしょう}の責任^{かん}

- 1 あすなろ学苑^{がくえん}は、就労継続支援B型事業^{しゅうろうけいぞくしえんぴーがたじぎょう}の提供^{ていきよう}によって事故^{じこ}が起きた場合^おには、すぐに利用者^{りようしゃ}の法定代理人^{ばあい}や家族等^{かぞくなど}に連絡^{れんらく}をし、必要な手続き^{ひつよう てつづ}を行^{おこな}います。
- 2 あすなろ学苑^{がくえん}は、就労継続支援B型事業^{しゅうろうけいぞくしえんぴーがたじぎょう}にあたって、あすなろ学苑^{がくえん}の責任^{せきにん}と認められ、それによって利用者^{りようしゃ}に損害^{そんがい}を与えた場合^{あた}には、利用者^{りようしゃ}の損害^{そんがい}を補償^{ほしょう}します。

利用者^{りようしゃ}があすなろ学苑^{がくえん}に対して行^{たい}うこと^{おこな}

第8条 利用料金^{だいいじょう}の支払^{りようりょうきん}

- 1 利用者^{りようしゃ}は、就労継続支援B型事業^{しゅうろうけいぞくしえんぴーがたじぎょう}の対価^{たいか}として市町村^{しちょうそん}が定める定率負担額^{ていりつふたん}及び、訓練等給付費対象料金^{くんれんとうきゅうふひたいしりょうりょうきん}の利用料金^{りようりょうきん}、訓練等給付費^{くんれんとうきゅうふひ}対象外サービス^{たいしやうがい}及び重要事項説明書^{およ じゅうようじこうせつめいしょ}に定める所定^{さだ}の利用料金^{しよてい りようりょうきん}をあすなろ学苑^{がくえん}に支払^{しはら}います。
- ただし、訓練等給付費^{くんれんとうきゅうふひ}の額^{がく}については、あすなろ学苑^{がくえん}が市町村^{しちょうそん}から代理^{だいいり}して受領^{じゅりよう}する場合は、あすなろ学苑^{がくえん}への支払^{しはらい}は必要^{ひつよう}ないものとします。
- あすなろ学苑^{がくえん}は、訓練等給付費対象外サービス^{くんれんとうきゅうふひたいしりょうがい}の費用^{ひよう}を、物価^{ぶつかけん}の変動^{へんどう}、その他の理由^{た りゆう}により相当^{そうとう}な額^{がく}に改定^{かいてい}することが出来ます^{で き}。

なお、改定した際は、その旨を書面により交付するものとします。

2 訓練等給付費対象サービスの利用料金は、当月分を翌月末日までに

請求し、翌々月の15日までに指定銀行口座引き落とし等により支払

いを行うものとします。

昼食の料金はあすなろ学苑が当月分を翌月25日までに請求し、

利用者は翌月末日までに指定銀行口座引き落とし等により支払いを

行うものとします。訓練等給付費対象外サービスであるクラブ活動、

親睦会、外出行事の費用は、実施の際あすなろ学苑が書面にて所定

の支払い期日を設定の上で請求をし、利用者は随時現金または銀行

引き落としにより支払うものとします。

3 利用者は、障害支援区分の変更または訓練等給付費支給決定が

取り消されるなど支給決定の内容が変更された場合は、すぐにあすな

ろ学苑に報告してください。

第9条 事故と損害賠償に関する利用者の責任

利用者は、わざとまたは不注意によってあすなろ学苑やあすなろ学苑

管轄下にあるイベントや外出先等において他利用者・職員・他者に

損害を与えたり、無断で机やイス、ロッカーなどの備品の形状を変

えたり、壊してしまったりしたときは、その損害を弁償し、もとに戻す

義務があります。

第10条 施設利用規則を守る

利用者^{りようしゃ}は、あすなろ学苑^{がくえん}の利用規則^{りようきそく}を必ず^{かならず}守^{まも}るものとします。また、

共有^{きょうゆう}の施設^{しせつ}・敷地^{しきち}を本来^{ほんらい}の用途^{ようと}に従^{したが}って正^{ただ}しく利用^{りよう}するものとします。

やくそくと け 約束 取り消し について

だい じょう りようしゃ やくそくと け 第 11 条 利用者から 約束 の 取り消し

1 この約束^{やくそくと}を取りやめたい時^{とき}、辞める^や 30 日^{にちじようまえ} 以上前^{がくえん} にあすなろ学苑^やに辞めることを所定^{しよてい}の文書^{ぶんしよ}で知らせる^し (通知^{つうち}する) 必要^{ひつよう}があります。

2 利用者^{りようしゃ}が、あすなろ学苑^{がくえん}に知らせることなく辞めた^や 場合は、あすなろ学苑^{がくえん}が辞めることを知^しった日^ひをもって、この約束^{やくそくと}は取り消^けされたものとします。

3 利用者^{りようしゃ}は、あすなろ学苑^{がくえん}が次^{つぎ}の 4 つのどれかにあてはまる行為^{こうい}をおこなった^{おこな} 場合には、すぐにこの約束^{やくそくと}を取り消^けすることができます。

① あすなろ学苑^{がくえん}が正当^{せいとう}な理由^{りゆう}なくこの約束^{やくそく}に決められた^{しゅうろうけいぞく} 就労^{しゅうろう} 継続^{けいぞく} 支援^{しえん} B 型^{びがた} 事業^{じぎょう}を行^{おこな}わ ない場合^{ばあい}。

② あすなろ学苑^{がくえん}が第 5 条^{だい じょう}に定めることを守^{まも}らなかった場合^{ばあい}。

③ あすなろ学苑^{がくえん}がわざとまたは不注意^{ふちゆうい}によって、利用者^{りようしゃ}の生命^{せいめい}・身体^{しんたい}・財産^{ざいさん}・信用^{しんよう}を傷^{きず}つける ことなどによってこの約束^{やくそくと}を続けにくい^{じゅうだい} 重大^{じゅうだい} な事情^{じじょう}が認め^{みと}られる場合^{ばあい}。

④ 他^{ほか}の利用者^{りようしゃ}が生命^{せいめい}・身体^{しんたい}・財産^{ざいさん}・信用^{しんよう}を傷^{きず}つける 恐れ^{おそ}がある場合^{ばあい}において、あすなろ学苑^{がくえん}が適切^{てきせつ}な対応^{たいおう}をとらない場合^{ばあい}。

だい じょう りようしゃ がくえん やくそくと け 第 12 条 あすなろ学苑 からの 約束 取り消し

あすなろ 学苑^{がくえん} はやむを 得^え ない 理由^{りゆう} がある 場合^{ばあい} に、30日 以上前^{にちじょうまえ} に 文書^{ぶんしょ}

で 通知^{つうち} することにより、この 約束^{やくそく} を 取り 消^け すことができます。

また、あすなろ 学苑^{がくえん} は、利用者^{りようしゃ} が 次^{つぎ} の 4 つの どれかに 当てはまる 行為^{こうい}

を 行^{おこな} った 時^{とき} には、利用者^{りようしゃ} に 文書^{ぶんしょ} で 通知^{つうち} することにより、直 ち^{ただ} にこの 約束^{やくそく}

を 取り 消^{とけ} す ことができます。

① 利用者^{りようしゃ} が、利用 料金^{りようりょうきん} の 支^し 払^{はら} いを 遅^{おく} らせ、約束^{やくそく} どおり 支^し 払^{はら} い

期^き 限^{げん} までに 払^{はら} ってくださいと 催^{さい} 促^{そく} しても 支^し 払^{はら} わない 場合^{ばあい}。

② 利用者^{りようしゃ} が、他^た の 利用者^{りようしゃ} ・ 職員^{しよくいん} の 生命^{せいめい} ・ 身体^{しんたい} ・ 信用^{しんよう} を 傷^{きず} つけ

ることなどによって、重大^{じゅうだい} な 事情^{じじょう} を 生^{しょう} じさせ、その 改^{かい} 善^{ぜん} が 見^み 込^こ

めない 場合^{ばあい}。

③ 利用者^{りようしゃ} があすなろ 学苑^{がくえん} とあすなろ 学苑^{がくえん} の 利用^{りよう} について 約束^{やくそく} を 結^{むす}

ぶときに 心身^{しんしん} の 状^{じょう} 況^{きやう} や 病^{びょう} 歴^{れき} 等^{など} の 重^{じゅう} 要^{よう} 事^じ 項^{こう} についてあすなろ

学苑^{がくえん} に 教^{おし} えない、または 事^じ 実^{じつ} と 違^{ちが} うことを 教^{おし} えたことにより、

約^{やく} 束^{そく} を 続^{つづ} ける 重^{じゅう} 大^{だい} な 事^じ 情^{じょう} が 起^お きた 場合^{ばあい}。

④ 利用者^{りようしゃ} が 1 ヶ 月^{げつ} を 超^こ えて 事^じ 業^{ぎやう} 所^{しょ} を 欠^{けつ} 勤^{きん} している 場合^{ばあい}。

やくそくしゅうりょう 約束 終了

だい じょう やくそくしゅうりょう 第 13 条 約束 終了

この 約束^{やくそく} は、次^{つぎ} の 6 つの どれかにあてはまった 場合^{ばあい} 終^{しゅう} 了^{りょう} するものと

し、利用者^{りようしゃ} もしくは 法^{ほう} 定^{てい} 代^{だい} 理^り 人^{にん} は 利用者^{りようしゃ} の 所^{しょ} 持^じ 金^{きん} 品^{ぴん} を 2 週^{しゅう} 間^{かん} 以^い 内^{ない} に

ひ 取^と り と 同^{どう} 時^じ に、あすなろ 学苑^{がくえん} から 貸^か し 出^だ された 物^{ぶつ} 品^{ぴん} を 返^{かえ} します。

また、8条に基^{じょう}づく^{もと}利用料金支払義務^{りようりょうきんしはらいぎむ}及び、その他^{ほか}の条項^{じょうこう}に基^{もと}づく

義務^{ぎむ}を速^{すみ}やかに^{じつこう}実行^{じつこう}します。利用^{りよう}者が2週間^{しゅうかん}を過^すぎても^{ざんりゅうぶつ}残留物^{ざんりゅうぶつ}を

引^ひき取^とらない^{ばあい}場合は、適^{てき}当^{とう}なものに委^{いた}託^{たく}し、利用^{りよう}者又は^{りようしゃまた}法定代理人^{ほうていだいにん}に、

残留物^{ざんりゅうぶつ}を引^ひき渡^{わた}すものとします。その費用^{ひよう}については、利用^{りよう}者又は^{りようしゃまた}

法定代理人^{ほうていだいにん}が負^ふ担^{たん}するものとします。

① 市^しが利用^{りよう}者^{りようしゃ}に對^{たい}して施設^{しせつ}訓練^{くんれん}等^{とう}給付費^{きつぱい}の決定^{けつてい}を取り消^とした

ばあい
場合。

② あすなろ学苑^{がくえん}が指定^{してい}を取り消^とされた^け場合^{ばあい}、または指定^{してい}を

断^{ことわ}った^{ばあい}場合。

③ 災害^{さいがい}等^{など}(大雨^{おおあめ}や台風^{たいふう}など)によりあすなろ学苑^{がくえん}が損^{そん}害^{がい}を受け^う

、就^{しゅう}労^{ろう}継^{けい}続^{そく}支^し援^{えん} B型^{がた}事業^{じぎょう}のサービ^{てい}スの^い提供^{きよう}がで^{でき}なくな^なっ

た^{ばあい}場合。

④ あすなろ学苑^{がくえん}が破^は産^{さん}や解^{かい}散^{さん}命^{めい}令^{れい}を受^うけた^{ばあい}場合。

⑤ 約^{やく}束^{そく}の取^とり消^けし、第^{だい}11条^{じょう}・第^{だい}12条^{じょう}により、この約^{やく}束^{そく}が解^{かい}約^{やく}

または解^{かい}除^{じょ}された^{ばあい}場合。

⑥ 利用^{りよう}者^{りようしゃ}が死^し亡^{ぼう}した^{ばあい}場合。

くじょうかいけつ 苦情 解決

だい じょう くじょうかいけつ 第 14 条 苦情 解決

利用^{りよう}者^{りようしゃ}は、この約^{やく}束^{そく}の第^{だい}4条^{じょう}にある就^{しゅう}労^{ろう}継^{けい}続^{そく}支^し援^{えん} B型^{がた}事業^{じぎょう}に關^{かん}して

、あすなろ学苑^{がくえん}が設^せ置^ちした^{くじょううけつけたんとうしゃ}苦情^{くじょう}受^う付^け担^{たん}当^{とう}者^{しや}、苦情^{くじょう}解^{かい}決^{けつ}責^{せき}任^{にん}者^{しや}に^{くじょう}苦情^{くじょう}

とあいで言うことができます。

また、^{かながわけんしゃかいふくしきょうぎかい}神奈川県社会福祉協議会に^{せっち}設置されている^{うんえいてきせいかい}運営適正化委員会

や^{よこすかししょうがいふくしか}横須賀市障害福祉課にも^{くじょう}苦情を^い言うことができます。

あすなろ学苑は、^{がくえん}苦情を^{くじょう}理由とする^{りゆう}不当な^{ふとう}扱いは^{あつか}一切^{いっさい}しません。

相談

第15条 ^{だい}利用者^{じょう}と^{りようしゃ}あすなろ学苑^{がくえん}が^{そうだん}相談すること

この^{やくそく}約束に^{さだ}定められていないことについて^{もんだい}問題が^お起きた^{ばあい}場合には、

^{りようしゃ}利用者^{がくえん}とあすなろ学苑は、^{ほうりつ}法律に^{さだ}定めるところに^{したが}従い、^{せい}誠意^いを持っ

て^{はな}話し^あ合うものとします。

第16条 ^{だい}保証人^{じょう}

1 ^{ほしょうにん}保証人は、この^{やくそく}約束に基づき^{りようしゃ}利用者の^{さいむ}債務を^お負うときは、^{りようしゃ}利用者

と^{れんたい}連帯して^{せきにん}責任を^お負うものとします。

2 ^{ほしょうにん}保証人は、^{ぜんこう}前項の^ぎ義務のほか、^{つぎ}次の^{かくごう}各号の^{せきにん}責任を^お負うものとします。

① ^{りようしゃ}利用者が^{しつぺいとう}疾病等により^{いりようきかん}医療機関に^{つういん}通院・入院する^{にゅういん}場合、^{ばあい}必要^{ひつよう}

^{そち}な^{じっし}措置を^{じっし}実施すること。

② ^{けいやく}契約が^{しゅうりよう}終了した^{ばあい}場合、^{りようしゃ}利用者の^{じょうたい}状態に見^み合った^あ適切な、^{てきせつ}受^う

^いけ入れ^{さきかくほ}先確保に^{つと}努めること。

③ ^{りようしゃ}利用者が^{しぼう}死亡した^{ばあい}場合の^{いたい}遺体の^ひ引き取りや^と遺留金品の^い

^ひ引き取り、^とその他^{たほんけいやく}本契約に^{さだ}定める^{ひつよう}必要な^{そち}措置を^{おこな}行うこと。

④ 事業者は、傷病・無届欠勤・無届外出等、利用者に異変

が生じた場合、利用者に対する支援の程度・内容が

相当程度過大になった場合、保証人に連絡し、就労継続支援

B型事業の利用について協議するものとします。

上記の約束を証するため契約書を2通作成し、利用者及び保証人と、あすな

ろ学苑が、記名・捺印の上、各1通を保有するものとします。

サービス利用契約書

2025年 7月 1日

利用者 住所

氏名

印

保証人 住所

氏名

印

あすなろ がくえん 学苑 しょざいち 所在地 よこすかし こやべ ちょうめ ばんち ごう
横須賀市 小矢部 4丁目 19番地 4号

めい しょう 名称 しゃかいふくしほうじん ところ かい
社会福祉法人 心の会あすなろ

がくえん
学苑

だいひょうしゃしめい 代表者氏名 りじちよう かんなり ゆうすけ いん
理事長 神成 裕介 印

せつ めい しゃ 説明者 えんちよう みうら まや いん
苑長 三浦 麻矢 印